



窓辺の結露にご注意ください

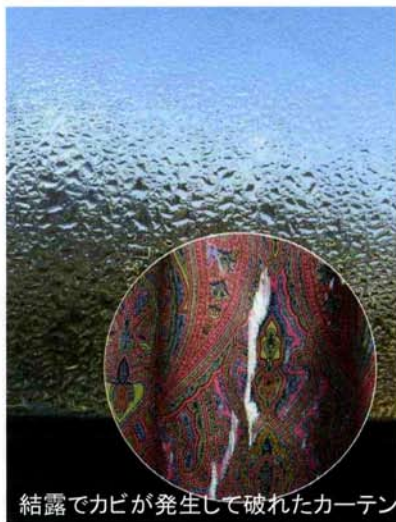
外気と室内の温度差が大きい時期は、窓辺に水滴ができる結露という現象が起きます。

◎結露はカビやダニ繁殖の原因になります

石油ストーブは、灯油が燃焼する時、大量の蒸気を発生させるので、窓辺が水浸しになってしまうこともあります。レーヨンや綿繊維を含むカーテンは、水分をよく吸収し、カビが発生しやすくなります。カビは繊維を分解しますので、破れやすくなってしまいます。

◎クローゼットの湿気対策も大切

湿気は室内よりも温度の低いクローゼットにも侵入し結露しやすいので、保管中の衣類にカビが発生する危険もあります。また、合成皮革などに使われている樹脂素材は、湿気によって分解(加水分解)す



結露でカビが発生して破れたカーテン

る性質があります。湿気は衣類のトラブルの原因ですので、乾燥した晴れの日には、クローゼットから取り出して陰干しすることをお勧めします。浴室も乾くまで換気扇を回しておくようにしましょう。